第2次椎葉村男女共同参画基本計画 選抜事業評価シート

事業番号	担当課	9	福祉保健課
男女共同参画事業名	男性を対象にした育児への参画のための支援		
事業概要	男女が協力して子育てに関わることについての学習機会の提供を行います。また、読み聞かせイベントや子育て親子の交流の場、子育てに関する情報の提供(母子手帳交付時に父親に対して「パパのイクメン手帳」を交付)を通じ、妊婦のサポートと、男性の子育てへの関わりの支援・促進を図ります。		
当年度実績	子ども・子育てについては、「利用者支援事業」で相談、「子育て支援拠点事業」で学習機会、交流の場の提供を行っている。母子手帳交付時には、妊娠のサポートや父親になる心構え等が記載されたパンフレット等を配布している。宮崎県では、男性の育児参加や育児取得に関するイベントや講演を行っており、村ホームページでも周知している。		
自己評価	B		
来年度実施計画	本年同様、子ども・子育て支援事業を展開し、男性の「子育てに対する考え」のスキルアップを図りたい。		
今後の課題と目標	子ども・子育て支援事業を行う中で、男性の子育てに対する意識の向上だけでなく、社会全体の子育てに対する意識の変化を促したい。		
審議推進委員会からの意見	今まで行ってきた事業に加えて、新たに実施している子育て支援拠点事業等について今後も続けていただくとともに、夫婦で参加できるイベントの更なる充実をお願いしたい。		

第2次椎葉村男女共同参画基本計画 選抜事業評価シート

事業番号	担当課	8	地域振興課
男女共同参画事業名	行事やイベント等における慣行の見直し		
事業概要	行事・イベント等での、役割分担を決定する過程において、性別に関わりなく一人ひとりの意見が反映されたものとなるよう、積極的な見直し、改善に努めます。		
当年度実績	各イベントの実行委員会等での協議において、役割分担の性別格差など生じないような意見集約に務める。		
自己評価	B		
来年度実施計画	本年同様、役割分担において性別に関して意見が反映されるよう、協議に際して留意する		
今後の課題と目標	人口減少する中、行事・イベント等での人材確保が困難となるなか、多様な人々が関われる体制が必要であり、そのうえにおいて性別に関する意識も改善していく必要がある。		
審議推進委員会からの意見	地区によって神楽での炊事や舞手が男女関係なく行われているところも出始めている。役割分担を決める過程において、できることできないことで区別はあっても、男・女で差別することは無いように、一定の配慮をお願いしたい。		

第2次椎葉村男女共同参画基本計画 選抜事業評価シート

事業番号	担当課	4	教育委員会
男女共同参画事業名	男女共同参画の視点に立った教育進路指導の実施		
事業概要	<p>児童・生徒が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、主体的に進路を選択する能力・態度を身につけられるよう、職場見学や職場体験学習を実施します。また、進路指導の際、男子向け・女子向けとされる職種にとらわれることなく、幅広い進路選択がされるよう教職員への情報提供に努めます。</p>		
当年度実績	<p>椎葉村学及び特別活動を要としたキャリア教育をとおして、児童生徒が自身の資質・能力を伸ばすとともに、自らの適性に気付き、固定的な概念にとらわれない、よりよい進路選択ができるように指導を行った。</p>		
自己評価	B		
来年度実施計画	<p>引き続き、学習指導要領の趣旨を鑑みキャリア教育の推進をとおして児童生徒が資質・能力を伸ばし、自らの適性に応じた進路選択ができるように指導・支援を行う。</p>		
今後の課題と目標	<p>キャリア教育推進に係る環境整備のため、椎葉村学の推進を旗印に、学校を核としながら家庭や地域を含め、総ぐるみで男女共同参画社会についての理解及び取組の推進を図っていききたい。</p>		
審議推進委員会からの意見	<p>教育という立場では、それぞれの子どもたちとの接し方や話すときの言葉選びなど難しいところもあると考えられる。教職員の男女共同参画の知見を充実させる機会を提供し、指導する上で性別役割分担意識にとらわれることなく適切な指導を行っていただきたい。</p>		

第2次椎葉村男女共同参画基本計画 選抜事業評価シート

事業番号	担当課	23	総務課
男女共同参画事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災活動		
事業概要	男女ともに災害や防災について意識し、被害を軽減できるよう、男女共同参画の視点を取り入れた防災活動に努めます。また、女性の防災人材の育成や自主防災組織への参画を促進します。		
当年度実績	災害時のジェンダーレスについて啓発活動等を実施しながら備蓄等についても配慮できるように検討している。また、女性消防団員の活動や女性防災士の養成を積極的に行い、防災力の向上と非常時のジェンダーレス社会の構築に努めた。		
自己評価	B		
来年度実施計画	本年同様、災害時のジェンダーレス社会の実現に向けた啓発活動や体制の充実強化に努める。		
今後の課題と目標	災害時のジェンダーレス社会の実現に向けた各種活動を実施していく。災害弱者を守るための体制整備を図っていく。		
審議推進委員会からの意見	災害時の備蓄品において女性視点のものが取り入れられており、大変役立つと思う。女性消防団の啓発活動等を通じて、男女共同参画の視点を取り入れた防災意識が高まるよう取り組んでいただきたい。		